

2023年11月10日

愛知県立芸術大学次期学長予定者の決定について

愛知県公立大学法人
理事長 古川 真也

2023年11月1日に行われました愛知県立芸術大学学長選考委員会において、下記のとおり次期学長予定者が決定されましたので、公表します。

記

1 次期学長予定者

白河 宗利（しらかわ のりより）

2 現職

愛知県立芸術大学教授

3 任期

2024年4月1日から2028年3月31日まで（4年間）

4 選考理由

学長選考委員会は、愛知県立芸術大学学長選考等規程第3条に規定する「人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者」として学長選考委員会が定める「愛知県立芸術大学学長の選考基準」に基づき、学長候補者3名を対象にして選考を行った。

なお、面接は、長谷高史氏より欠席の意向が伝えられたため、白河宗利氏及び福本泰之氏の2名に対して実施した。面接した2名の候補者が語るビジョンや運営手法は、芸術に対する深い造詣や情熱に加え、蓄積された知識や経験をもとに表現され、それぞれの候補者の個性が溢れ、とても魅力的なもので、いずれの候補者も本学に対する深い愛情とともに、強い信念や高い使命感が窺えるものであった。

候補者から提出された書類、意向投票結果及び面接結果を踏まえ、総合的に検討した結果、学長には、白河宗利氏が最も相応しい候補者であると判断した。

白河氏が高く評価された特筆すべき点は以下のとおりである。

- (1) 本学の特性を活かした上で、現代社会のニーズにも対応した機能を併せ持つ「現代型アート・ヴィレッジ」の構築を目指すビジョンを掲げ、その実現に向けた具体的な施策項目を示して、目に見える改革を進めようとする氏の取り組みには、強い意欲が窺え、実現に向けた氏の手腕が大いに期待できる。
- (2) 大学を取り巻く状況がより厳しくなることが必至の時勢にあって、芸術の力を育て、社会や世界に発信していく高い使命感や責任感の強さが窺えるほか、新たな外部資金の獲得などにも強い意欲を示すなど、直面する課題に果敢に立ち向かう氏の発想力や若さを活かした行動力・リーダーシップの発揮に期待が持てる。
- (3) 設置者である愛知県を始めとする関係機関・地域との連携・協力体制の構築にあたっては、氏のコミュニケーション力や交渉力・発信力のほか、本学が誇る知的資産を活かすマネジメント能力の発揮が期待できる。

- (4) 意向投票において、最も多くの信任を得たことは、氏への期待度はもちろん、氏の人柄や実績を含め、掲げるビジョンや手腕などが高く評価されている証である。こうした氏の信頼の厚さに加え、教職員との対話を重視しながら、教職協働を基本とした透明性の高い大学運営を進めようとする氏の姿勢は、大いに期待でき、本学の未来を託せる最も相応しい人材であると判断した。

5 選考の過程

- 2023年 6月 1日 学長の選考基準、立候補手続き、選考日程及び選考方法の公表
- 2023年 7月 18日 立候補の書類提出期限
白河宗利氏、長谷高史氏、福本泰之氏の3名が立候補
- 2023年 9月 14日 所信表明説明会
- 2023年 9月 21日 意向投票

意向投票の結果（五十音順）

投票者数 92人（個人投票権者数 103人）

学長候補者	得票数
白河 宗利	44票
長谷 高史	25票
福本 泰之	23票

2023年10月 5日 再意向投票（※）

再意向投票の結果（五十音順）

投票者数 85人（個人投票権者数 103人）

学長候補者	得票数
白河 宗利	61票
長谷 高史	21票

無効票 3票

2023年11月 1日 学長選考委員による学長候補者2名（白河宗利氏、福本泰之氏）への面接（長谷高史氏欠席）
次期学長予定者の選考

※ 意向投票の結果、投票者数の過半数を得る候補者がいない場合、意向投票の得票数上位2位までの候補者により投票する。

以上